土浦市洪水ハザードマップ（霞ヶ浦・桜川浸水想定区域図）

TSUCHIURA CITY FLOOD HAZARD MAP

洪水避難地図とは…

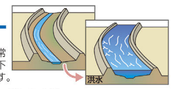
洪水避難地図とは、**洪水によって被害が予想される区域や避難所などの位置を地図に示したもの**です。洪水被害が予想される場所を事前に知ることにより、**身の危険を感じた場合に出来る限り早く自主避難**を行ってもらうことを目的としています。

安全な避難をするためには…

平常時			洪水の発生が予想されるとき
❶ 知る	❷ 確認する	❸ 準備する	❹ 情報を入手する / ❺ 避難する
●洪水の危険性を知る ●予想される浸水深を知る	●危険な場所を確認する ●避難所・避難経路を確認する	●非常持ち出し品を準備する	●避難時の心得に注意し、安全に避難する

洪水災害とは？

洪水　洪水とは、雨などにより川の水量が普段より著しく増えた状態をいいます。河原へ行くと広い敷地のわりに中心部しか水が流れていないなど。これが通常の姿です。ところが、川幅いっぱいに水がおしかせると、広い河原も水の下にかくれて見えません。このように異常に水が増えたときを「**洪水**」といいます。



氾濫　氾濫とは、雨などにより住宅地や農地などに水があふれることをいいます。川から水があふれることを「**外水氾濫**」といいます。川から水があふれるのではなく、住宅地や農地に降った雨がそのままたまってあふれることを「**内水氾濫**」といいます。

水害　水害とは、水によって起こされる災害のことで、外水氾濫も内水氾濫も水害と呼ばれます。ただし、海水による水害の場合は、高潮災害、津波災害といった呼び方をされます。

注意報・警報・特別警報

種類		発表の時期
大雨	注意報	大雨によって災害が起こるおそれがあるとき。
大雨	警報	大雨によって重大な災害が起こるおそれがあるとき。
大雨	特別警報	台風や集中豪雨により数十年に一度の大雨が予想されるとき。重大な災害が発生する可能性が高まっているとき。
洪水	注意報	河川の増水によって災害が起こるおそれがあるとき。
洪水	警報	河川の増水によって重大な災害が起こるおそれがあるとき。
土砂災害警戒情報		雨量や過去の災害の記録などから土砂災害が発生する危険度が高まったとき。
記録的短時間大雨情報		1時間雨量100mmの猛烈な雨を観測したとき。

雨の降り方と注意報・警報の関係（目安）

1時間雨量（mm）	10以上～20未満	20以上～30未満	30以上～50未満	50以上～80未満	80以上～
予報用語	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
人の受けるイメージ	ザーザーと降る	どしゃ降り	バケツをひっくり返したように降る	滝のように降る（ゴーゴーと降り続く）	息苦しくなるような圧迫感がある（恐怖を感じる）
人への影響	地面からの跳ね返りで足元が濡れる	傘をさしていても濡れる		傘はまったく役に立たなくなる	
屋内（木造住宅を想定）	雨の音で話し声がよく聞き取れない	寝ている人の半数くらいが雨に気がつく			
屋外の様子	地面一面に水たまりができる		道路が川のようになる	水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる	
車に乗っていて		ワイパーを速くしても見づらい	高速走行時、ブレーキが効かなくなる	車の運転は危険	

避難場所等一覧

●**指定避難所**…避難した住民や、災害により家に戻れなくなった住民を滞在させるための施設です（備蓄あり）。
●**指定緊急避難場所**…災害が発生し、または発生のおそれがある場合にその危険から一時的に身を守るための場所です。

指定避難所・指定緊急避難場所一覧

No	避難場所等	所在地	指定緊急避難場所 洪水	土砂	地震	指定避難所
1	土浦小学校	大手町13−32		○	○	○
2	下高津小学校	下高津4−2−9	○	○	○	○
3	東小学校	中455		○	○	○
4	旧宍塚小学校	宍塚1478		○	○	○
5	大岩田小学校	大岩田2066−1	○	○	○	○
6	真鍋小学校	真鍋4−3−1	○	○	○	○
7	都和小学校	並木5−4826−1	○	○	○	○
8	荒川沖小学校	荒川沖東3−24−3		○	○	○
9	中村小学校	中村南5−29−5		○	○	○
10	土浦第二小学校	富士崎2−1−41		○	○	○
11	上大津東小学校	沖宿町2489	○	○	○	○
12	上大津西小学校	手野町3651	○	○	○	○
13	神立小学校	中神立町4		○	○	○
14	右籾小学校	右籾1728−3		○	○	○
15	都和南小学校	常名3090	○	○	○	○
16	乙戸小学校	乙戸南2−1−1		○	○	○
17	菅谷小学校	菅谷町1464−8		○	○	○
18	旧藤沢小学校	藤沢3057	○	○	○	○
19	旧斗利出小学校	高岡1367		○	○	○
20	旧山ノ荘小学校	本郷301		○	○	○
21	土浦第一中学校	文京町3−8		○	○	○
22	土浦第二中学校	東真鍋町21−7	○	○	○	○
23	土浦第三中学校	中村南1−25−15		○	○	○
24	土浦第四中学校	中高津3−10−4	○	○	○	○
25	土浦第五中学校	手野町3218−1	○	○	○	○
26	土浦第六中学校	右籾428		○	○	○
27	都和中学校	中貫1222−2		○	○	○
28	新治学園義務教育学校	藤沢913	○		○	○
29	土浦第一高等学校	真鍋4−4−2	○		○	○
30	土浦第二高等学校	立田町9−6			○	○
31	土浦第三高等学校	大岩田1599			○	○
32	土浦工業高等学校	真鍋6−11−20	○		○	○
33	土浦湖北高等学校	菅谷町1525−1			○	○
34	つくば国際大学高等学校	真鍋1−3−5			○	○
35	土浦日本大学高等学校	小松ケ丘町4−46	○		○	○
36	常総学院高等学校	中村西根1010			○	○
37	茨城県霞ケ浦環境科学センター	沖宿町1853				○
38	一中地区公民館	大手町13−9		○	○	○
39	二中地区公民館	木田余1675	○	○	○	○
40	三中地区公民館	中村南4−8−14		○	○	○
41	四中地区公民館	国分町11−5	○	○	○	○
42	上大津公民館	手野町3252	○	○	○	○
43	六中地区公民館	烏山2−2346−1		○	○	○
44	都和公民館	並木5−4824−1	○	○	○	○
45	新治地区公民館	藤沢982	○	○	○	○
46	老人福祉センター湖畔荘	手野町1892−1	○			
47	ワークヒル土浦	木田余東台4−1−1	○			
48	土浦市保健センター	下高津2−7−27	○			
49	亀城公園	中央1−13−34		○	○	
50	川口運動公園	川口2−12−75		○	○	
51	神立公園	北神立町3		○	○	
52	霞ケ浦総合公園	大岩田1051		○	○	
53	市民運動広場	佐野子260		○	○	
54	乙戸沼公園	中村西根番外50−10		○	○	

※洪水（水害）が予想される際は、浸水想定区域内の避難場所 No. は使えません。
※災害状況により、上記の表と異なる場合があります。

緊急連絡先一覧

No	緊急連絡先	所在地	電話番号
①	土浦市役所	大和町9−1	826−1111
②	土浦警察署	立田町1−20	821−0110
③	土浦市消防本部・土浦消防署	田中町2083−1	821−0119
④	土浦消防署南分署	桜ケ丘町13−1	823−0119
⑤	荒川沖消防署	中荒川沖町27−12	841−0119
⑥	神立消防署	神立中央5−32−6	831−0119
⑦	新治消防署	大畑46	862−4577

2019年3月発行
土浦市 総務部 総務課
危機管理室
茨城県土浦市大和町9番1号
（平日8：30～17：15）
TEL：029-826-1111（内：2292）

防災・災害情報の入手

災害が発生したり、発生するおそれがある場合に、市や関係機関は避難に関する情報を発表します。災害情報や気象情報はテレビやラジオ、ホームページなどで確認できるので、日頃から情報を入手して確認するようにしましょう。また、災害時の連絡方法もチェックしておきましょう。

防災情報の伝達

防災情報は、さまざまな方法で市民の皆さんに伝えられます。複数の情報を確認するように心がけてください。

- **土浦市**：公式ホームページ、登録制メール、防災行政無線・広報車、緊急速報メール（エリアメール）
- **消防・警察**：消防署（消防車）、警察署（パトカー）による広報
- **情報通信メディア**：テレビ、ラジオ、防災関係機関のホームページ、携帯電話会社の災害・避難情報配信など
- **共助**：自治会、自主防災組織連絡網、土浦市消防団などによる周知

→ **市民の皆さん**

発令される避難情報

避難準備・高齢者等避難開始	避難勧告	避難指示（緊急）
お年寄りや身体の不自由な方など、避難に時間を要する方は避難を開始してください。その他の方は避難の準備を整えてください。	災害発生が予想される地域の方は、速やかに避難を開始してください。	指示を受けた方は、ただちに避難をしてください。

避難を判断するために情報を入手する

避難の判断をするために、大雨や地震が発生したときはテレビやラジオ、インターネットなどを利用して自主的に情報を入手しましょう。市から避難情報が発令された場合はすみやかに避難行動を開始してください。

テレビ	地上波デジタル放送のテレビ画面で（dボタン）を押し、一覧から選択することで、気象情報や避難情報、災害情報などをご覧になれます。
ラジオ	▶NHK水戸放送局（AM：594kHz、FM：83.2MHz） ▶茨城放送土浦局（AM：1458kHz）
Yahoo! 防災アプリ	スマートフォンに防災アプリをインストールすることにより、防災速報や豪雨などの災害情報を入手できます。（iPhone版／Android版）
国土交通省	防災情報提供センター：http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/ 川の水位や雨量など、国土交通省が保有する防災情報を集約して、わかりやすく提供しています。
気象庁	http://www.jma.go.jp/ 気象警報や注意報、防災情報などを提供しています。 中小河川については、サイト内の洪水警報の危険度分布を参照してください。
茨城県	防災・危機管理ポータルサイト：https://www.bousai.ibaraki.jp/info/08203_info.html 土浦市の詳細な発令情報が確認できます。 防災情報メールサービス：http://www.pref.ibaraki.jp/seikatsukankyo/bousaikiki/bousai/bosai/mail/bosai.html 防災に関する情報を電子メールで携帯電話やパソコンに配信します。
土浦市	避難情報など防災行政無線の放送内容を確認できます ▶ 市ホームページ：http://www.city.tsuchiura.lg.jp/index.php?code=3722 災害情報、防災行政無線の放送内容（最新の内容）がホームページで確認ができます。 ▶ 防災無線テレフォンサービス：0120-826113 防災行政無線の放送内容がフリーダイヤル（無料）で確認ができます。 ▶ 土浦市安心・安全情報メール：http://www.city.tsuchiura.lg.jp/dir.php?code=1371 災害情報、防災行政無線の放送内容をメールでお知らせします。 受信を希望される方は、上記アドレス又はQRから登録できます。

避難時の心得

避難の基本的な考え方

■ 危険が迫る前に早めに避難

雨や風が強いときに外出することは大変危険なため、危険が迫る前に早めの対策をすることが何よりも重要です。自ら積極的に気象情報などを入手することで迫りくる危険を予測して、早めの避難を心がけましょう。**既に浸水の危険性がある場合**には、速やかに頑強な建物の2階以上、またはお近くの浸水しない地域に避難してください。

■ 自宅に留まることも避難の一つ

既に河川が氾濫している場合などは、屋外を移動して避難所などへ避難する途中で被災することも考えられるため、自宅などの屋内に留まったり、建物の上階へ移動したりするほうが安全な場合もあります。

避難するときの注意点

正確な情報収集と自主的避難を

テレビ・ラジオで最新の気象情報、災害情報、避難情報に注意しましょう。雨の降り方や浸水の状況に注意し、危険を感じたら自主的に避難しましょう。

避難する前に

避難する前に、電気のブレーカーを落とし、ガスの元栓を止めておきましょう。また、避難所・避難場所の経路を確認し、親戚や知人などに避難する旨を連絡しておきましょう。

車での避難は控えて

車は道路が冠水すると動けなくなります。原則、徒歩で避難しましょう。

やむをえず車を使用するときは、早い段階で、避難を始めてください。

速やかに避難しましょう

避難勧告・避難指示などは、危険が迫ったときに出されますので、市や関係機関から呼びかけがあった場合には、速やかに避難しましょう。また、避難の際には消防、警察などの指示に従いましょう。

徒歩での避難 水面下に注意

水面下にはどんな危険が潜んでいるかわかりません。長い棒を杖代わりにして、側溝の場所や安全を確認しながら歩きましょう。

大雨により、マンホールのふたが外れることがあります。危険ですから近寄らないでください。

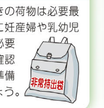
動きやすい服装 2人以上での避難

避難するときは、動きやすい服装で、2人以上での行動を心がけましょう。

サンダルなどは禁物です。動きやすい運動靴をはきましょう。

持ち出す荷物は必要最低限に

避難するときの荷物は必要最低限とし、特に妊産婦や乳幼児がいる家庭は必要なものをよく確認して、事前に準備しておきましょう。

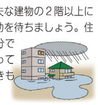


歩ける深さ

歩ける深さは、膝下までです。水深があるようなら高いところで救助を待ちましょう。

万一、逃げ遅れたら

近くの丈夫な建物の2階以上に避難して救助を待ちましょう。住宅の2階部分でも場所によっては危ないときもあります。



土浦市全体図（洪水・土砂災害避難地図）

TSUCHIURA CITY MAP

わが家の防災メモ Check Your Family's Evacuation Route Map

わが家の避難場所 My Family's Evacuation Location/Shelter ①　大雨・洪水 Heavy Rain or Flooding ②　地震 Earthquake or Similar

家族の連絡先	名前 Name	血液型 Blood Type	電話番号 Tel	会社・学校名 Office/School	会社・学校の連絡先 Tel(Office/School)
			― ―		
			― ―		
			― ―		
			― ―		

土砂災害警戒区域

土砂災害警戒区域は、「土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律」に基づいて、被害を受けるおそれのある区域を茨城県が指定し、公表したものです。

急傾斜地の崩壊（がけ崩れ）の特徴

大雨や地震などの影響で、急な斜面が一気に崩れ落ちる現象です。

平成18年12月から平成27年3月に指定、公表。

- 5m以上の高さがあり、はっきりしている場所がある。
- 亀裂ができる。
- 浮き石があり、小石が斜面からばらばらと落ちる出す。
- 斜面から地鳴りが聞こえる。
- 雨水が集中する場所がある。
- 湧き水が濁ってきたり、水の吹き出しがみられる

土石流の特徴

山や川の石や土砂が、大雨などにより水と一緒になって激しく流れ下る現象です。

平成20年11月から平成27年3月に指定、公表。

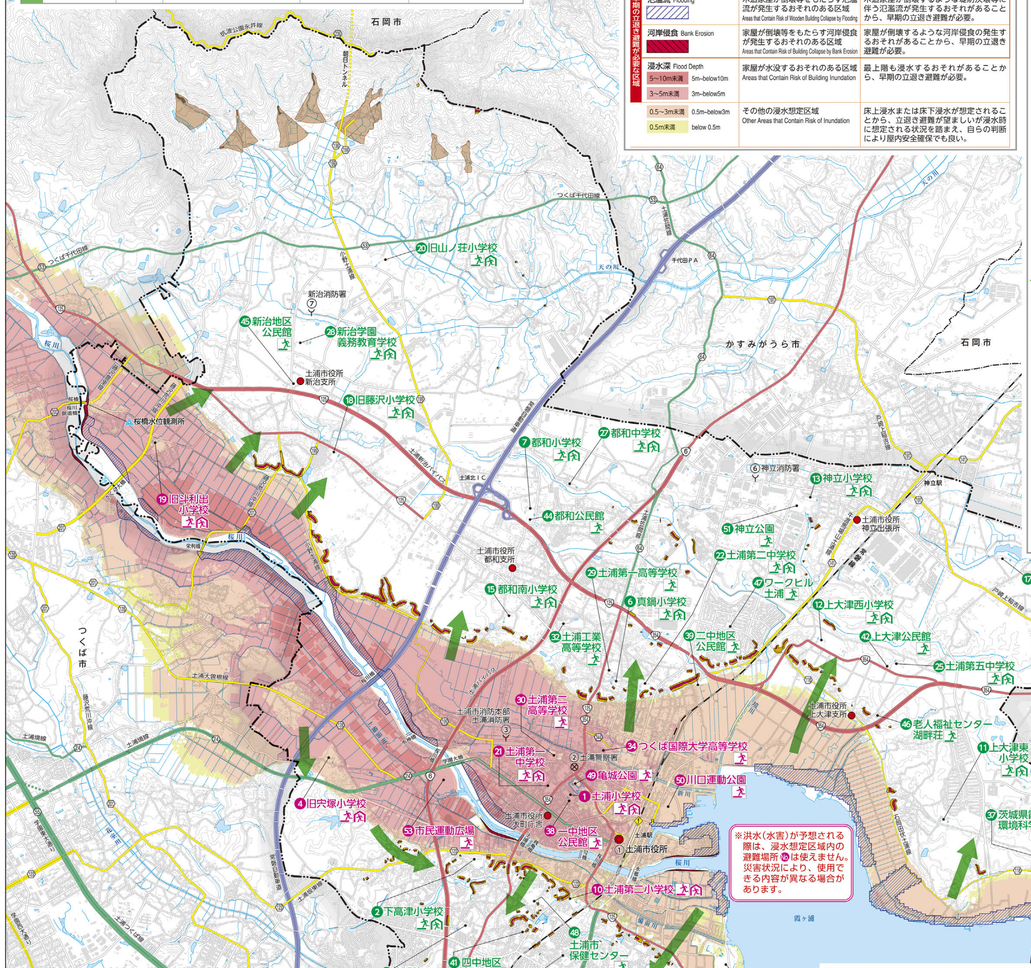
- 立木の裂ける音や大きな岩の流れる音が聞こえる。
- 急に川の水が濁り、流木が混ざりはじめる。
- 雨が降り続いているのに川の水位が下がる。
- 山鳴りがする。
- 土の臭ったようなにおいがする。

家屋倒壊等氾濫想定区域 Areas that Contain Risk of Building Damage by Flooding

例 Legend	凡	避難行動
Areas Require Immediate Evacuation from Building		
氾濫流 Flooding		木造家屋が倒壊するような氾濫流が発生するおそれのある区域 Areas that Contain Risk of Wooden Building Collapse by Flooding
河岸侵食 Bank Erosion		家屋が倒壊等をもたらす河岸侵食が発生するおそれのある区域 Areas that Contain Risk of Building Collapse by Bank Erosion
浸水深 Flood Depth		家屋が水没するおそれのある区域 Areas that Contain Risk of Building Inundation
5～10m未満 5m−below10m		家屋が倒壊するような河岸侵食の発生するおそれがあることから、早期の立退き避難が必要。
3～5m未満 3m−below5m		最上階も浸水するおそれがあることから、早期の立退き避難が必要。
0.5～3m未満 0.5m−below3m		床上浸水または床下浸水が想定されることから、立退き避難が望ましいが浸水時に想定される状況を踏まえ、自らの判断により屋内安全確保でも良い。
0.5m未満 below 0.5m		その他の浸水想定区域 Other Areas that Contain Risk of Inundation

地図凡例 Legend

- 氾濫流 Flooding
- 河岸侵食 Bank Erosion
- 浸水深 Flood Depth：5～10m未満 5m−below10m／3～5m未満 3m−below5m／0.5～3m未満 0.5m−below3m／0.5m未満 below 0.5m
- 土石流（土砂災害特別警戒区域 Debris Flow（Landslide Special Disaster Hazard Area））
- 土石流（土砂災害警戒区域 Debris Flow（Landslide Disaster Hazard Area））
- 急傾斜地の崩壊（土砂災害特別警戒区域 Steep Slope Failure（Landslide Special Disaster Hazard Area））
- 急傾斜地の崩壊（土砂災害警戒区域 Steep Slope Failure（Landslide Disaster Hazard Area））
- 指定緊急避難場所 Designated Emergency Evacuation Location
- 指定緊急避難場所（洪水時利用不可） Designated Emergency Evacuation Location(Not Available in Case of Flood)
- 指定避難所 Designated Evacuation Shelter
- 指定避難所（洪水時利用不可） Designated Evacuation Shelter(Not Available in Case of Flood)
- 高台への避難方向 Evacuation Direction to Higher Ground
- アンダーパス（山体交差で掘り下げ式になっている道路） Underpass
- 水位観測所 Gauging Station
- 市役所 City Office
- 市役所支所、出張所 (City) Branch Office
- 警察署 Police Station
- 消防署 Fire Station
- 鉄道 Railway
- 高速道路 Expressway
- 国道 National Route
- 主要地方道 Major Local Road
- 県道 Prefectural Road



中小河川にも注意してください！

霞ヶ浦・桜川以外にも、中小河川が市内を流れています。

避難時には、中小河川の状況（増水・氾濫）にも十分注意して、安全な方向に避難してください。

マイ・タイムラインを作ってみよう

「マイ・タイムライン」とは、台風の接近によって河川の水位が上昇するときに、自分自身がとる標準的な防災行動を時系列的に整理し、とりまとめる行動計画表です。

急な判断が迫られる洪水発生時に、自分自身の行動のチェックリスト、また判断のサポートツールとして役立ちます。

自分の家族構成や生活環境にあった避難に必要な情報・判断・行動を把握して「マイ・タイムライン」を作成し、「自分の逃げ方」を手に入れましょう。

おおよその時間（目安）	行政から発信される情報	私の備え 例
3日前	台風予報	テレビの天気予報
2日前	大雨・洪水注意報	避難するときに持って行く物を準備する
1日前	大雨・洪水警報	避難場所、避難手段を確認する
半日前	大雨特別警報	避難しやすい服装に着替える
5時間前	避難判断水位到達	安全な所へ移動を始める
3時間前	避難勧告 緊急速報メールなど	避難を完了
0時間	氾濫発生	情報の確認と身の安全確保

※マイ・タイムラインができると、災害時の防災行動で対応漏れの防止になります。

家庭備蓄の充実

災害時には、ライフライン機能の低下など都市機能の低下が考えられます。このため、各家庭で最低3日間、出来れば7日間、自宅で過ごせる用意をしましょう。

〈飲料水〉
- 飲料水は1人1日3リットル必要です。
- ペットボトルなどで、家族全員分用意しておきましょう。

〈食料〉
- お米や乾麺、缶詰など、日持ちのするものを多く用意しておきましょう。
- 普段の生活の中で十分買い置きし、賞味期限が来る前に消費しながら定期的に買い足すことで、無理なく備蓄ができます。（＝ローリングストック）

〈その他〉
- カセットコンロ（ボンベも含む）、簡易トイレ（汚物処理袋）などを用意しておきましょう。

災害伝言ダイヤルの操作方法

災害用伝言ダイヤルは、災害の発生により被災地への通信が増加し、つながりにくい状況になった場合に提供が開始される声の伝言板です。

伝言の録音方法
- 171にダイヤルする
- ガイダンスが流れます
- 録音の場合 1
- ガイダンスが流れます
- (029)XXX-XXXX

伝言の再生方法
- 171にダイヤルする
- ガイダンスが流れます
- 再生の場合 2
- ガイダンスが流れます
- (029)XXX-XXXX

※被災地内の方も、被災地以外の方も被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤルしてください。

携帯電話災害用伝言板サービス

大規模な災害が発生した場合、携帯電話各社のトップに「**災害用伝言板**」が追加され、自らの安否状態を登録することが可能になり、登録された伝言は、インターネットや携帯電話などから確認することができます。

※使用にあたっては、各携帯電話会社のホームページで確認しておきましょう。

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図（国土基本情報）電子国土基本図（地図情報）、数値地図（国土基本情報）電子国土基本図（地名情報）及び基盤地図情報を使用した。（承認番号 平30情使、第747号）
東京都板橋区向原3−15−22 ☎03（3967）1931㈹（株）中央ジオマテックス
不許複製